

## 東京マラソン財団 2025 大会年度定時理事会議事録

2025 年 6 月 23 日午後 13 時 30 分、東京マラソン財団内会議室において、東京マラソン財団 2025 大会年度定時理事会を開催した。

理事総数 27 名

出席理事数 16 名

出席監事数 2 名

事務局は、理事総数 27 名中 16 名が出席し、定足数である半数を超えるため、適法に成立している旨を報告し、議事に入った。

- 議事：第 1 号議案 2026 大会年度事業計画及び予算書（案）について  
齋藤事務局長は、2026 大会年度事業計画及び予算案について説明した。  
清水（真）理事より、東京マラソン及び東京レガシーハーフマラソンの収支について質問があった。  
これに対して福田管理本部長は、東京マラソンは収益約 47 億 2000 万余り、費用は約 38 億 5000 万円余りで、収支差は 8 億 6000 万余り。東京レガシーハーフマラソンは収益約 5 億 6800 万円余り、費用は約 7 億 9400 万円余りで、収支差はマイナス 2 億 2600 万円余りだと回答した。  
延興理事より、TOKYO ROKUTAI FES の実施内容や状況について、主体が東京都だった時と変わっているのか質問があった。  
これに対して酒井経営企画室長は、以前は 6 時間耐久リレーマラソンと、フルマラソンのリレーを 1 日で開催していたが、現在は 2 日間の開催に拡大し、従来の種目の他に、女性のための 5 km レースや、10 km、ファミリーで参加出来る 1 MILE など、ランニングの裾野を広げ、食と音楽と連携し、楽しみ方も広げていく形で運営しており、昨年は参加者が約 5,000 人だったと述べた。  
第 1 号議案については、出席理事全員の承認を得たため、可決成立した。
- 議事：第 2 号議案 東京マラソン 2026 大会要項（案）について  
齋藤事務局長は、東京マラソン 2026 大会要項（案）について説明した。  
第 2 号議案については、出席理事全員の承認を得たため、可決成立した。
- 議事：第 3 号議案 臨時評議員会の開催について  
齋藤事務局長は、基本財産の積立及び理事交代に伴う臨時評議員会の開催について概要を説明した。  
第 3 号議案については、出席理事全員の承認を得たため、可決成立した。
- 議事：第 4 号議案 財産管理規程の改正について

齊藤事務局長は、財産管理規程の改正について概要を説明した。

第4号議案については、出席理事全員の承認を得たため、可決成立した。

○ 報告：理事長、副理事長の職務執行報告について

齊藤事務局長は2025年1月22日以降2025年6月22日までの代表理事の職務執行の状況を説明した。

○ その他：古川副理事長より、役員等の改選にむけて、ガバナンスの視点を踏まえた検討を進めていく旨の発言があった。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、定款第44条第2項に基づき、出席した代表理事及び監事は、次に記名押印する。

2025年6月23日

一般財団法人東京マラソン財団

代表理事 早野 忠昭

代表理事 古川 浩二

監 事 馬神 祥子

監 事 小林 久美